
Kanon
1
カノン
作画 森嶋プチ
原作 Key

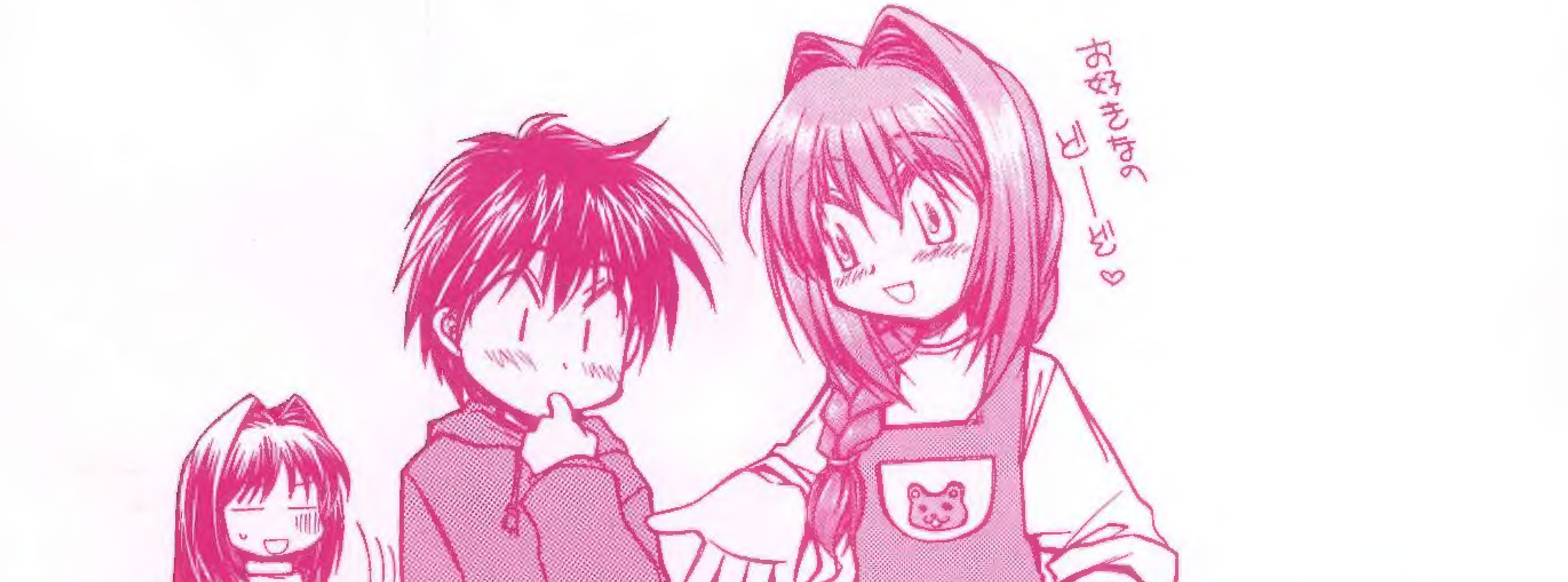


Kanon 1

MorishimaPetit+Key

CONTENTS

ORIGINAL WORK BY Key × ARTIST BY Petit Morishima




今日から住む事になったいとこの家はかなり北に位置する街に在り
いてつく空気と真っ白な世界
7年前に訪れた事のあるこの街の印象はそればかりが強く残っていて――

約束だよ



ちゃんと
覚えていなきゃ
いけなかった事を
俺は

忘れてしまって
いたんだ

Kanon
カノン



へーっくしゅ!
あ〜〜〜〜
寒う〜〜〜〜
ずず…
俺は一体ここにいつまで待たされるんだろう…?
ガク
がく
ちらっ
待ち合わせ場所は合ってる…よな?
ガサッ


遅い・・・
はぁ・・・
俺今日死ぬかも・・・
おまたせ・・・
わ・・・っ！
・・・・・・頭
雪すごい積もってるよ


そりゃ2時間も待ってるからな
ズビ
…あれ?
今……何時?
3時!
わ…びっくり……
まだ2時位だと思ってたよー
それでも1時間の遅刻…
?
じゃあね手出して
遅れたお詫び
それと——


再会のお祝いだよ
祐一
7年ぶりの再会が缶コーヒー一本か？
あ そっか そんなに経つんだね
ね じゃあさ
祐一はちゃんと私の名前覚えてる？
……
カシュ
…「花子」
違うよ～
ガン
ぐびっ
「次郎」！
私女の子～
じわ…



わあっ
嘘!ごめん!! 冗談だって!!
ずーーん
名雪…だろ?
ええと…
ちゃんと 俺
覚えてるよ
うん…
正解
かーっ…
よし んじゃ 行くぞ 名雪
うんっ
あ、お買物あるから商店街寄ってこ
え?! まっすぐ帰るんじゃないの?!


まてぇ～っ
コラ～～～
止まれ～!!
うぐぅ～～～
ばたばたばた
だって
止まったら
捕まっちゃう
もん～～～
よし!
ココを
折れれば…
振り切れ
そ…
だっ
!!


うぐぅ～どいてぇえええぇ
ぷしゅう……
う…ぐぅ……
ひ…っ
ひーどいよ～!!
どいてって言ったのに――!!
わさわさ
はぅぅぅぅ…
…ってんなヒマ無くツッコンできたくせに
ガー
うぐぅ～
何言ってるんだよ!!
うぐぅ～～。
そんな事言ったってボクは…
はっ


ちょっと待って話はあと！隠れて!!
ぐわッ
うわ
オイまた何すんだ
シーッ！
ぱくっ
モグッ
クソっどこ消えやがった!?
キョロ キョロ
こそ…
この辺りに潜んでいるみたいだな…
ん…!?
わわわわっこっち来る〜〜
アイツから逃げてるのか…



うぐう
逃げなきゃ〜!!
わーーん
そうだっ ねっ ちょっと コレ持って
えっ
わっ
ばさっ
ほーーら 見事なカムフラージュに!!
………
やったー
ボクって頭良い〜♪
ーーって 俺達は無関係だろ!? なんでこんなカッコ…
しっ!
見つかっちゃうよっ ウロウロしてるんだから!
く…っ
んじゃ行くよっ
楽しくなって来てる
まぁまぁ 落ち着いて…


ガサッ
！
どたどた…
あっ
みつけた
待て コラ！
!!
うぐう～
なんでこんな
早くバレるの
～～～～？
解るだろ 普通
こんな目立つ
格好してたらさー
う…
だだだだだだ
！
きゃっ
ドンッ
わっ
ごめん
なさい！
あ いえ
大丈…


ぶ…ッ
？
はっ!!
そういや俺の格好は…!!
はっ
うぁ…っ そんじゃ 俺
先急いでるんでこれで…っ
あ…
本当にスミマセンでしたっ
待ってー
こ…こんな変な格好させられたせいで笑われた――(泣)
祐一早く〜ーっ
きゃ〜〜〜っ
……
わ―――ん
待ってぇ〜


えーと…俺は一体何やってるんでしょーか…こんなカッコで
はっ
はっ
あははなんとか撒けたみたいだね
うん！よかったぁ
ガクッ
名雪はもうこの謎の女の子と馴染んでるし！
おい！
…
さっきから聞こうと思ってたんだけどさお前なんで追われてんだよ？
！
そ…
それはボクの口から言えないよ…


それに無関係の人を
ぶっ。
これ以上巻き込みたくないからね…
とーすい
思い切り巻き込んだお前が言うか!? それを!!
あ
ねもしかしてその紙袋と関係ある?追われてるのって
図星
!


わっわっ
違うよっ
全然関係ないよっ
たい焼き屋
なんて――
ぶんぶんっっ
…たい焼き?
あっ
んと
ちゃんと
話してみる?
ううん
え――とね…
回想スタート
お腹
空いた～～～
ぐーきゅるるる
ぷーーん
あ♪
たいやき
あいよっ
まいどっ
たい焼き
5つ――♡
たたた



四百円ねー
チョコ
あんこ
はーい
はっ
!
お金が・・・
ない・・・!!
ぽとん
う…っ
うぐぅ〜っっ
だっしゅ!
ああっ 待て
たい焼き
ドロボー!!
回想オワリ。
…と言う
訳なの
それじゃ
お前が一方的に
悪いんじゃ
ないかー!!
うぐぅ〜〜
仕方なかったん
だよ〜〜〜!


だって
本当にお金無かったし
すごくお腹空いていたし…っ
それで…っ
でも…でもっ
ちゃんと 後でお金払うつもりでいたんだもん…っ
本当…だもん
わかったよ 信じるよ お前の言う事
!
ちゃんと反省してる様だしさ
私も!
わあい! 嬉しい よかったぁ〜♡
ぴょんっ
ぴょんっ
立ち直り早い…


あっ
ねっねっ待って！
ほか
ほか
はい！2人にあげる!!
ずいっ
ってあ…とえ〜〜〜と…名前まだ…ごめん〜
ボクは月宮あゆ
私は「水瀬名雪」だよ
あと祐一「相沢祐一」
え…？
いとこ同士なんだ〜
祐一…君!?


どした？
あ…っ
ううん！何でもないよっ
では気をとりなおしてーー
はいっ手出して！
祐一君と名雪さんの分
ちょっと冷めちゃったけどおいしいよ♡
はむん
ぱくん
ん！
んまい！
ホントだーおいしー！
わーぁ


よかったぁ…
えへへ…
じゃあ 今日は これでさよならだねっ
あれ？ 今日は？
う… うぐぅ〜
ま…また 会えると いいなぁ…って
えっ いいか？
コラ！
ううっ いいんだよっっ


そうだな
会えると
いいな
うん！
今日は
楽しかったよ
じゃあね！
またねー
バイバーイ
にぎ
にぎ
まぁ まぁ
そんな事が
あったの


それで
戻ってくるのが
遅れたのね
う…っ
のっけから
スミマセンでした
秋子さん
でも
夕食 遅れた分
お腹空いた
でしょう?
私も名雪も
張り切りすぎて
こんなに
作っちゃって…
だから
いっぱい
食べてね♡
んま
うぐっ!
は
はいっ!!
もうねぇ
今日から祐一さんと
一緒に住むからって


ななんだよー
笑って！
えーだって『うぐっ』ってあゆちゃんみたいだったんだもん♪
あゆちゃんって……？
あさっき話していた今日会ったって子だよ
ふうん…
あゆ…ちゃんねぇ…？
どうかした？お母さん
あううん


どこかで聞いた様な気がしただけよ
ホラホラ ぼーっとしてると冷めちゃうわ
早く食べちゃいましょ
は――い
デザートもあるのよ
こんもり!
うっ
んぐんぐ
祐一の部屋
ポフン
んん―― 食った食ったー


これが
今日からの
俺の部屋かぁ…
とりあえず
この荷物の山を
片付けなきゃな
どよよ
コンコン
はい？
祐一〜〜〜
ちょっといい？
ひょこ


わあっ
どさーーーっ
な…っ なんだこれ!?
目覚まし…
ん～～
さっき祐一が 貸してって 言ってたから 持ってきたの…
た 確かに 言った けどさ
どれでも 好きなの 貸してあげるよ どれがいい？
どれって 言われても…
う～～ん
んと じゃあ 私が選んでいい？
あ ああ そうしてくれ


ん…と
そしたら…コレ!
ちょーーん
じゃ しばらく 借りるな
うん いいよ
よいしょ …っと
わたし そろそろ 寝るね
あふー
名雪 目覚まし
わざわざ 持ってきてくれて ありがとな
ああ



祐一 夜は
ぱた
おやすみなさい だよっ
ではまた明日ね～
ばたん
ああ おやすみー
し・・・・ん
えーと・・・
とりあえず 忘れないうちに セットしとこ
カリ カリ カリ


んで あと しなきゃ いけないのは…
コトン…
荷物の片付けか
——いいや それは明日にして 今日は寝よう!
パチン
う——ん…
ずぼっ
ひんやり
やっぱ 夜は かなり 冷え込むなぁ
そうだ 「冷える」と 言えば…


今日は名雪にかな――り待たされたっけ…
へっくしゅ!
!
うっわ…聞こえてるんじゃないだろうな……!?
全然大丈夫。
あと…何だっけあゆって子にも訳の解らないままに
しっ!
巻きこまれてあんな事…
となり部屋。


ま
楽しかったから
いいか
また
会えると
いいね
う……ん
そうだ…な…
こうして俺は
7年振りに訪れた
この街で
暮らす事に
なったのだった。

CHAPTER-1 Shiori Misaka




Ⅱ-C
えーと
相沢祐一…です
こちらに来て
まだ日も浅いので
まだわからない事
だらけですが――
よかったら色々
教えてやって下さい
ヨロシク
ペコリ
挨拶って
苦手
なんだよなー
パ4
パ4
あ…
パ4パ4
パ4パ4パ4


キーンコーン…
ひょこ
えへへ
よかったね 祐一
何が？
んもう～～～
『同じクラスに
なれてよかったね』
だよ～～～
ぷ
おっ
転入早々
熱いねっ
うっあ！
名雪 なに
恥ずかしい事
言ってんだよ
誤解
されんだろっ!?
そうかな
——？
私は
嬉しい
もん…
ぷーーっ
ゴカイだからなー
クスッ


そうね〜〜〜
一日中 名雪のお守りするのは大変だわね
う〜〜〜 香里 それ どういう意味?
かいぐり かいぐり
ん?うふふ 内緒〜〜♡
香里!!
頑張ってね 相沢君
え〜〜 そんな事ないもん
私 ちゃんと自分の事は自分で
いやいや ちょっと待った!! そんな事はないぞ 名雪
香里さんも聞いてくれ!!
だってよー 今朝の話なんだけどさぁ…
解説。
ちゃん
ちゃん
ちゃん



すや
すや
カチッ
朝～～
朝だよ～～
朝起きて学校行くよ～～
うわぁあああ
カチッ
ゼー ハー ゼー ハー
な 何だったんだ 今のは!?
てな訳で 名雪!!
なゆき'S ROOM
ドドドドッ
一体なんだ この目覚ましは――っっ!?
?
しーーん。
あれ? いないのかな
開けるぞー
そ～～


きゃー
？？
？？
？
とにかく
この音
止めないと…
近所迷惑に
なるし…
おい名雪!!
一体こりゃ
なんの
イタズラだよ!!
Z…
むにゃ


コラ〜〜! 起きろ!! 名雪!
ゆっさ
ゆっさ
なんで こんなんで 起きねえんだよ 遅刻すんぞ!!
んにゅ?
ふぁ… あれ…? 祐一 オハヨ〜〜〜〜…
どしたの? こんな所で
ぷしゅ〜〜
……
必死になって 起こしたってのに あんな事 言われるし…
そんな奴に 自己管理 出来るとか 言われたくな…
ないわよね――
ううう ひどいよ 2人共〜〜
うーん そっか――…
水瀬さんが 寝汚いのは 授業中だけじゃ なかったのか…
聞いてたぜ 俺も今の全部!
わははは
き 北川君まで そんな事言う〜〜〜



ま 名雪で 遊ぶのは この位にして おいて――
も もう～～～
これからも 仲良くしましょ 相沢君
私は 香里で いいわよ
あ!
俺も 俺も!! ヨロシクな 相沢!
ポン
あ こちらこそ!
えーと 北川…だよな
とーっす
ううっ 人をダシにして みんな仲良しに なってー
ぷー
わははは
いいじゃーん
よくなーいっ!


で。昼食食べに行く事になった4人。
どろ
どろ
!
あんな所に私服の子が……


寒い中
一体
何してんだ…？
オイオイ
頭に雪
かぶってんぞ
なんだか
この間 名雪に
待たされてた
俺みたい…
わかるぜ
──って
あ
あ、祐一
あの
女の子って
もしかして…
悪りィ！ みんな
先に学食
行ってて！
俺
あとから
行くから…
だっ
だだだ…
しーーん…


ね
名雪
相沢君って学食の場所知ってるの？
えーと…
し…知らないと思う…けど
キィ…
ひゅう
あ上履きのまんまだけどいつか…
誰も見ていませんよーに！
うっ寒…っ



あの…キミさ
どうしたんですか？
それは俺のセリフ～～
ち 違うっつーの！俺は学校に生徒以外の子がいるから
そんで気になって来てみただけなんだって！
あ それなら
ご心配無く 私 ここの生徒ですから
ニコッ
えっ…!?
えっと
私 学校を欠席していて
でも どうしても会いたい人がいたんで
それでナイショでベッド抜けてきちゃって
だから私服なんです。


ふうん
それって
単にサボリって
言うんじゃ…っ
違います!!
もうっ!
そういう事
言う人
キライですっ
ぷーっ
ごめんごめん
あ…
いいんですけど
でも 私
昔から
体があまり
強くなくって
それで学校を
ずっと休んで
いたんです
本当に
なんか
ドラマみたい
でしょう?
……そっか
ん、と
こんな事
初対面の人に
いきなり訊いて
よいのか
分からないけど…
あの…
その病気…って?
あ


ただの風邪です
すてーん
あ そういえば 自己紹介 まだでしたよね
風邪…？
いや 大した事ないなら いいけど…
はい そうです
私は栞です 美坂 栞
"栞"で どうぞ
休んでばかりですが ここの一年です



んーと
じゃ 俺は
2年の相沢ーー
えっ!?
ぴくん。
さっ
ふふっ
だって…
この間
商店街で
こんな格好
してましたよね?
〝祐一〟さん
ですよね?
あっ うわ~~っ
やっぱ覚えて
いたのか~~
アレを
はーずーかーしーー!!
ぐわぐわーー
ーハイ!
その時 一緒に
居た女の子に
そう呼ばれてたの
覚えてたんです
うっわー
記憶力
良いなあ…
でしょう?
でもアレは
もう忘れて…


う…っ やべ！ そういや俺 学食行くハズ だったんだ
ゴメン！ 栞も お昼 まだだよね？ よかったら 一緒に…どう？
わ♡ ありがとう ございます そしたらですね 私——…
えっ えぇ——っ!?


祐一——！
たっ たっ たっ
おっ 名雪！
「おっ 名雪」 じゃないよ… もう〜〜〜
さがしたんだよ〜
悪ィ


いやあ それが
かくかく しかじかで
こういう 女の子と 会ってたん だけど
それだったら 祐一さん 私…
ここで アイスが 食べたいです
そしたら こんな事に なって しまいまして――
――で アイス 買ってきたんだね
そう 俺は パンだけど
ふうん…
じゅる…
私も アイス 食べたい… 行ってもいい？
へ!?
え?! いいけど 寒いぞ？
いいよ～ 私の分も 買ってくる～


わぁ 嬉しい!! ありがとう ございます〜
実は もう一人 アイス 食いたいって ついて来ちゃったんだけど…
そんな! 全然 大歓迎 ですよ♡
よろしく—— 水瀬名雪 です〜
あ どうも 美坂 栞です こんにちわ
美坂…
あれ?
この名字って… 香里と一緒
それでは いただき ま——す
ぱく


ん♪
おいしい～
…そ そう
よかったね…
がくがく
わーーい
コレ 新入荷の ヤツなんだよー
こんな極寒の中で
アイスなんて
自殺行為
だっつーのに
ヒュゴーー
平気な
こいつらが
信じられねぇ…!!
祐一心情
風景
あの…
私 またここに
来ても…いいですか?
えっと…その
お話もっと
したいし…
しかも 栞は 風邪なんだぞ…
ん?
あと
ここの
アイスも
美味しいし


カーンコーンカーン…
わっ もうこんな時間!? ごめんなさい!
ん? まだ 平気 平気
んじゃっ 俺達行くけど また来いよな 栞
次はイチゴアイス 食べようね
…はい
でもって 帰ったら ちゃんとすぐに うがいするんだぞっ
はい!
では 授業 頑張って 下さいねー
おう!
ふいーーーっ 冷えた 冷えた
しっかし よくあんな所で アイス食えるよなー お前達
えー? 普通だよー
あ そうそう 祐一
あのね 栞ちゃんって もしかしたら 香里の妹…かも
う~ん
へ!?



だって名字
一緒だから…
MISAKA
あ
そうなの？
ん 香里に
確かめてみないと
わからないけど
でも美坂なんて
名字珍らしいから
きっとそうなんじゃ
ないかなぁって…
へえ…
ぴた。
うーん
SHIORI
KAORI
そうだな
そう言われると
似てるのかも
うんうん
名前も
2人並ぶと
韻を踏むしな
それは
どうかな…
あ…あの


突然お引き留めしてごめんなさい
あの…今先輩方が外でお話してた私服の子って
美坂さんだったんですよね？
あ ちょっと今声掛ける前にお話してるの聞こえちゃって スミマセン
や栞だったら今風邪で休んでるって言ってたけど…
ちょっと長引いてるらしいんだけどね
え…!?
嘘…
だ…だって私彼女と同じクラスなんですけど彼女…始業式に一度っきりしか高校に来てなくって…
担任も何も教えてくれなかったから…勝手に解釈して病気重くて入院とかしてるのかなぁ…って思ってたんですけど


し……ん
あっ あっ
でも…あの
それは私の勝手な
思いこみなんで！
きっと快方に向かって
いるんですよね 彼女！
学校まで来てるの見て
安心したんで！
本当 気になってたから
それだけだったんです
ど どうも失礼しましたっっ!!
パタパタパタ….
………
行こう
名雪
あ…
うん


おかえり〜〜〜〜 お2人さん
まったくもー どこ 行ってたのよー
帰りには何か おごりかなー？
うにょーーー
うにゃーー ゴメンー
あのね 祐一と私で 中庭行ってたんだけどね
そこで私達 美坂 栞ちゃんって 女の子に 会ったの
ひり ひり


あねえ 次 移動教室だから 急がないと! 名雪
あ わ!
ホラ 先に 用意してあげて おいたわよ
相沢君は 北川君に教科書 みせてもらいなさい
すいっ
う ありがと 香里
あ…それでね 今の話 祐一と 言ってたん だけど
その 栞ちゃんって 子ね


妹？
私の⁉
やだ名雪
うち妹なんていないわよ
あ…うんごめん
変な事言っちゃったね…


大事な友達が
こっそりと抱えている悩みを持っている事に
気付いた時は……どうしたらいいのかな
やだ名雪
うちに妹なんていないわよ


美坂栞です
どうぞよろしく
お願いします
嘘・・・
彼女
一度っきりしか
学校に来ていなくて
おい
こぼしてんぞ
名雪！
ガシャーンッ


あう…
あーあ 仕方ねぇなぁ
ごめん… ありがとね
別にいいよ この位
どうせ 昼の事でも 考えてたんだろ？
あ…
うん そう…なんだ
あのね 祐一 香里って いつもはね…
営業中
hyakkaya
今週のおすすめ!
ああいう事 絶対言わないんだよ
ケンカして… 私がどんなに 悪かった時でも



だから私驚いちゃったんだ
ごめんね折角私から誘ったのにこんなんで
いや…
カラン カラン
いらっしゃいませー
俺だってさ実際栞の事は——
気になつへへは——
ぷにゅ
ぷッ
うわ——変な喋り方~~~
にゃは——



こ、コラ!!
人がマジな話してる時に何すんだよっ!!
ガオー
キャー!
ごめんごめーーん!
2人共やめてー
お客様お静かにお願いします
ホラ怒られちゃったでしょー
う、うぐぅ～
と、とりあえず座ろっか…
んでなんだよ？今日は？
ん？ボク？
えっと 探し物見つけに来てたんだけどね
見つからないなぁって思っていた所に偶然2人見つけたから入ってきちゃったんだーー
うぐぅ～無いよ～
ぐすん…
は、あの2人は…!!
ガラン ガラン
祐一君と名雪さん!
わーい タダだー!!
ふうん そうだったんだ
探し物って「タイヤキ」はここには無いぞ
ガタン
うぐぅ～～ ままた意地悪言う～
ちがうのにー


ああっ もう! 祐一も からかわないの!
う~~っ
あ~~?
ねっ ねっ あゆちゃん
その探し物って 急いでいないんだったらさ
イチゴサンデー 今一緒に 食べていこうよ!
イチゴ サンデー?
じゃーん
うん すっごく 美味しいよ♡
わ! たべる たべるー!!
きゃ~~っ♡



んーーっ おいしーっっっ
ねっ でしょ でしょーーー？
ぐらぁ
うーー 幸せ…♡
もらいっ♪
ガーン！
ああっ ボクのイチゴ!!
もぐもぐ
くす
わーーん もうっっ 返せーー ボクのイチゴーー
もう ムリだってばよ
もう 仕方ないわね 名雪はー


ごめん
ごめんってば
香里…
私は 今は
言ってくれるまで
待ってあげなきゃ
いけないんだよね…


お姉ちゃん
雪
512
だんだん
ひどくなってきたよ
帰り…平気？
うん
お母さんに
途中まで
来てもらうから
大丈夫だって
それよりも
栞


あんた コッソリ 夜更かしなんか してないで 早く寝なさいよ〜〜〜
看護婦さんに ぜーーんぶ 聞いてるんだから!!
えっ!?
わわわわっ
そっ そんな事 ないもん!! いつもじゃ ないよ〜〜〜!!
だって… 本がね
おねーちゃんが おススメって 持って来てくれた本…
外にバレない様に 布団の中に 懐中電灯を持ち込み
ドキ
ドキ
すごく面白くてね それが気になって 眠れなくなっちゃって
ドキ


早く結末まで読みたかったから…
その時だけだもんっ
あーあ
私のせいかぁ
折角退屈しないようにと持つてきてあげた本だつたのに
あっという間に読んじゃつて…もう
仕方ないだまってててあげるわよ
OSARU BOOKS


お母さんに
伝わると
うるさいしね
でも もうダメよ
また熱出して
苦しむのは
栞なんだからね
いい子に
してなさいよ
はぁい
よし
いい返事♡
えへへー
じゃね
栞
また明日
来るからね
うん
ありがとね
おねえちゃん


検査の結果は特に問題も出ていなかったので
栞ちゃん明日にはまたお家に戻れますから
はい本当にすみませんでした
いえいえ何もなくてよかったわね
ースステーション
でもね今日の栞ちゃんいつになく良い顔してたのよー
え…?


今日
出掛けた先が
よっぽど
楽しかったらしくてねぇ
学校
行ってたんですってね
一生懸命に
色々と
話してくれたのよ



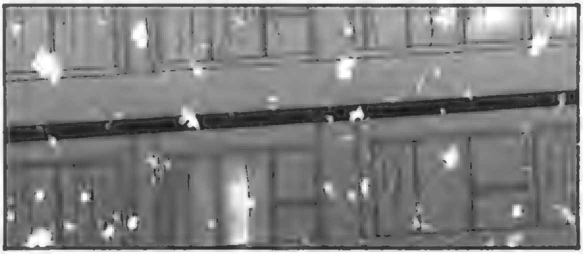
そうですか…
あ
面会時間 とっくに 過ぎちゃったけど 栞ちゃんとこ 顔出してく？
でも ナイショよ
！
しー
いえ 大丈夫って事なら 私はこれで…
明日また 迎えに来ます
そう それじゃ もう遅いから 気をつけてね
はい
サクッ
私が
栞のお姉ちゃんではなかったら
サクッ
多分
こんな苦しい思いはしなかったよね





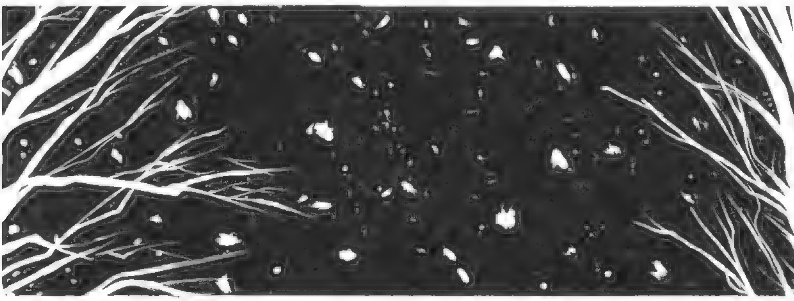
雪が近い将来に 目の前から消えていなくなってしまう



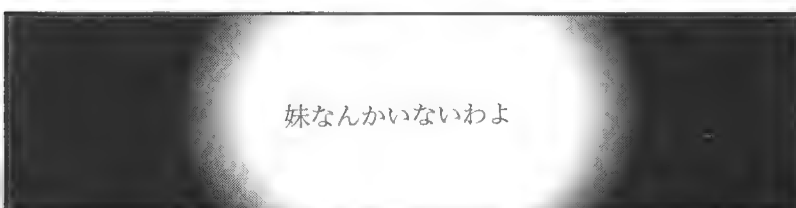


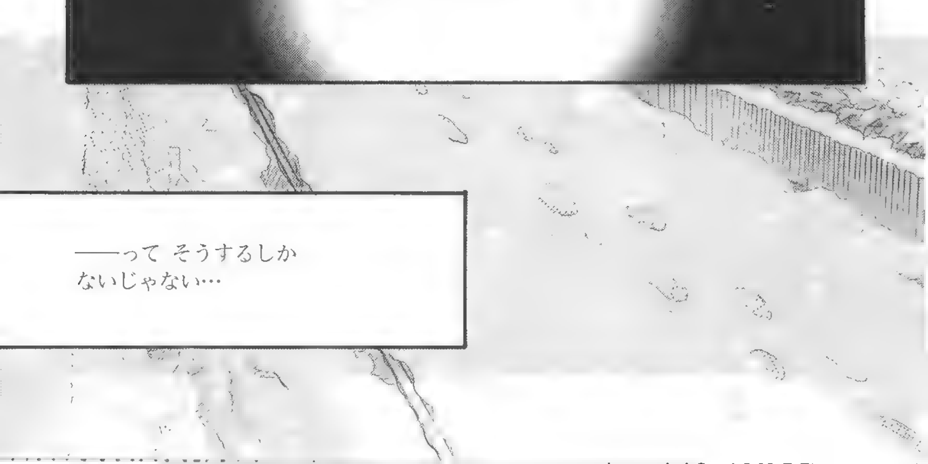
そんな悲しい存在ではなかったら





だから
どうしてあげる事もできない 私は






合　病　院
キーンコーン
カーンコ
あ―― 腹へったぁ〜〜〜!
1月11日(火)
日直 西留 堀内


ザワ
名雪！早くメシ食いに行こうぜ！
えっ？！
あっ
わたわた
あう～～～ 待って待って すぐ行くよ～
ホラ 早くしないと
学食の席 無くなっちまう じゃんよー
たたた……
ドン！
きゃ！
ああっ どうも スミマセン…
よそ見 しちゃってて…
大丈夫？
ふあっ こちらこそ 不注意で ごめんなさいっっっ
ぺこん
ぺこん


——って ええっ!?
あっ 祐一さん!
しっ 栞〜〜〜!?
はいっ!
ど…っ どしたの?
えと… この間『また来ていいよ』って祐一さん達が言ってくれたから
それで来ちゃいました!


ちょっと
名雪ー！
まってよ――
置いてきぼり
なんて
非道いじゃ
ないのよ――
とっ



の…よ……
!
あ…
おねえちゃん…


なんだ先約…あったんだ?
栞…どうしてまた私の見える所に来たりするのよ
じゃ私遠慮するわ
えっ大丈夫だよ私達なら一緒してもね? 栞ちゃ…
いいのよ!
びくっ
あ…名雪ごめん…違うの
あ…私この後図書室まで行く用事あるから
今日は一人で早く済ませるね…


それじゃ
あっ
香里…！
だっ
たたた…
栞ちゃん…
あ早く
行きませんか？
学食
学生食堂


じゃーーーん
…………
どうした 栞? 俺と同じメニューで良かったんだよな?
は…はい でも あの～～～
実は私 辛いの苦手だったんです～～～
わ 大丈夫!? 私のAランチと交換しよっか?
さっ
あ…っと おかまいなく
きらーん
折角だから頑張ってみますね
えへへ


では いただきま――す！
ぱくん
お おう
もぐ
もぐ…
……
ボフッ
わ――っっ!!
ふ――っ



大丈夫か
栞?
はふ
は…
ハイ!
なんとか〜〜
ガ!
そっか そっか
いやあ しかし
かなり"お子様"な
舌だよなぁ
栞は
んべー
むーーっっ
そ そういう事
言う人
嫌いですっっ
プイッ
あーー もう!
祐一ったら
笑っちゃ
ダメだよー
そういうのは!
そうだよな
ゴメンな 栞
いえ
本気で
怒った訳じゃ
ありませんから…
そっか
よかった
よかった
あ…
これって……ーー
ん…ふふっ



嬉しかったんです 私
？
あ えと… ですね
こうして みんなで 学校で過ごすのに 憧れてたから…
1-D
今日 久々に会った クラスの子も
すごく 喜んで くれたりしたし…


だから
来てよかったぁ
…って
今
そう思って
いたんです
そっか…
こんなんで
良いんだったら
私達 いくらでも
つきあうよ
栞ちゃん…
お おう
わ♡
本当ですか？
嬉しいな
ばんざーい！
よーし！



じゃ栞
俺ノド乾いたから
お茶そこで
買ってきてよ
え!?
1年は
パシリって
決まりだから
普通はさー
えーー
私、そんなのには
憧れてないです…
わい
わい
――……
栞…
数日後――
おかーさん
いってきまーす
気を付けて
行くのよー
はーい!
たたた…


ズキ…ン
!
ぱんっ
あ…っ
は
…は
はぁ
っは…っ
すた
すた


!
栞
……しお
行…かなきゃ…
びくっ


行く…
んだも…ん
おねえちゃんと
一緒の学校…
は
は
は
一緒に
行く…って
は
は
栞が学校へと
足を運ぶ様になってから
何度も見た光景
あの子は必死に
病気と闘い続けていながらも
おねえちゃん


こうして
手を差し伸べてすら
やらない私や
友達の事ばかり
考えて――
あのね
お母さん
今日学校でね！
あと僅かしか
残されていない時間の中で
私だけが
逃げまわってばかりで
――っ！
栞ちゃーん
ここ！
ここ！
早く
きなよー！
あの子に
何もしてやれないまま
このまま
終ってしまってもいいの……？
く…しお…りっ
ふ…っく


コンコン
名雪
いる?
電話
美坂さん
からよ
はぁい
もしもし
香里?
あ 名雪
今 平気…?


ううん
食事終わった所だし
ゆっくりしてた所だよ
そっか…
あのね 名雪
お願いがあるんだけど
え…
相沢君と2人で
今…出て
これるかな…？


香里
ごめんね お待たせ
サクッ…
ううん 平気よ
それより
こんな所に 遅くに 呼び出したりして ごめんね
あ… ううん
いいんだよ



私ね
プル
プル
名雪達にどうしても聞いてもらいたい事があったの…
栞の事…か？
ん…そう
妹…って判ってたよね？2人共
もう…ね隠しておけなくなっちゃったから…
あの子の事とか色々と
ちゃんと話をしておかなきゃって思ったの


あの子は
昔から
体が弱くて
ほとんど
ベッドの上で
辛い生活ばかり
してきたのに…
このうえ
そう遠くない
未来に
お別れしなきゃ
ならなくなるって
医者に宣告
されていて……
それで
それで…



それを知った私は——……
512
美坂栞
おねえちゃん…
はっ
熱いよ……苦しいよ
は、
は、
ね……
側に居て…？
ど…したの…？おねえちゃん
ふら…
ね こっち来て…？
あ……
やだ やだよ 無理だよ もう
私 自信ないよ 前みたいに 栞の前で 笑う事なんか 出来ないよ


そんな事知っちゃったら……私
だっ
栞を見る事すら恐いよ………!!
プル..
プル...
一人っきりの妹にこの手を差し伸べてやる事を出来ずに………逃げてきたの
けどね


それを承知で
あの子
そんな私と
一緒の学校に入って…
そんな体で
何言ってるの
ムリよ 栞ちゃん
お母さん達を
困らせないで
お願い
お母さん!!
私…
お姉ちゃんと
同じ学校行くの
憧れてたの
お姉ちゃんと
同じ制服着て
同じ時間を
過ごしたい…って…
そんな小さな夢
見ていたのよ
病気と闘いながら…
全く
馬鹿よね
あの子ったら
だから…
一日だけでも
いいから……


行きたいの……！
でもね　私　気付いた
もう　遅いかも　しれないけど…　あなたたちの　おかげね
！


あなた達があの子と私の間に何か…？って気付いていながらもあの子と楽しく接してくれているのを何度も見ていたわ
そのうちにね三人が仲良くしてる場面を見ていくうちにやっと解ったの
何してるんだろ私…って
身内でもない二人がこうして栞の事を支えていて──
結局あの子の存在を無視し続ける事が出来ずにいた私は影から見ているだけで


本当に
このままの形で
目の前から
栞が
いなくなって
しまったら
きっと
ものすごく
後悔する
私の中の
本当の
気持ちは
まだ
以前と同じ様に
栞の事が大好きで
忘れられない位に
大好きなままで
だから
もっと
私が強くなって
栞が辛い時には


私が傍にいて
一緒に頑張って
あげなきゃ…って
こんなに
遅くなっちゃった
けど
でも
あの子一人ぼっちに
したまま…逃げるのは
もう嫌で
あの子には
今まで
ひどい事してきた分
いっぱい…いっぱい
香里……


大丈夫だよ 香里！
まだ全然間に合うよ！
あのさ
私ね 最近 辛い顔してる香里見てるの辛かった
力になってあげられない事がすごく悔しかったよ
ずっと昔から香里が苦しんでたってのに 私ニブくて… 気付けなかったから
ん
でも 偉いよね 香里は
私達 栞ちゃんがそんなに悪い病気抱えてたって知ってたら 今までみたいに付き合えなかったと思う
そういう事言っちゃダメなのかもしれないけど
ねっ 祐一？



うん
そういう事
自分で全て
考えられる
香里はさ
強いよなあ
って思うよ
俺
あ……
う……っ
うん………
……ありがとう


たたた…
はっ
はっ
はっ
ハァ…
祐一さーん
名雪さぁあん
ハイハミガキー
おはようございまーす…っ
コケっ
どてっ
きゃーーっっ
栞ちゃーん
おわっ
大丈夫か?!
て…てへっ
平気ですっっ
と、とうかい…っ
あ
スミマセン
!
ホラ
手借すわよ


お……
おねーちゃ…ん……
むく
ありがとう
相変わらずのほほんとしているから転ぶのよ
気をつけなさい
あ…ううん 気を付ける…
ふいっ
ピタッ
……


栞
今日の昼休み
一緒に学食に
行かない？
相沢君と
名雪も入れて
四人で
え……っ
くるっ
一体
どういう…?!
あ……っ


う……ん
わかった
絶対行くね
すぐ
授業終わった
行くからね…
よし!
約束よ
うん…
うん…!
ぽろ…
ぽろろ…
ありがと…
おねえちゃん
やだっ
ババカね
朝から泣くんじゃないのー
だってー
わぁあああん~
よかったなー
とりあえず…
うん!
…あ、
今日の
Aランチのデザート
苺ショートだってー
やった!♡
めにゅー


CHAPTER-2 Makoto Sawatari


カラン
カラン
名雪…
じゃ 私達は これで 帰るわね
1000
1000
あなた達は これから 買い物 なんでしょ?
ごちそうさま でしたっ♡
うん
お母さんに ジャムの材料 頼まれてるの
それ買って 帰るつもり だから
ジャム!?


ね…名雪の家では もしかして まだ あのジャム 作ってるの…?
ヒソ ヒソ ヒソ…
う…うん たま…にね
大丈夫 今日は 普通のヤツ だよ…
んま!
香里も秋子さんの お手製ジャム 食べた事あるんだ?
アレ すっげー 美味いよな?
ふぅん…
!!
そ、そりゃあ
普通の ジャム だったらね…
でも… ……
あらやだ もうこんな時間!?
もう行かなきゃ じゃあね〜
ノーコメント!
あ…っ



な
なんだよ〜〜〜〜？
さ　さぁ
どうしたんだろーね
話の途中なのに
ったく　もう
まぁ
まぁ
じゃ
うちらも
行こうか？
ん
そうだな
そっか
祐一はまだ
あのジャムの事
知らないもんね…
………
そこの
男!!
待ちな
さいよっっ!!


…って
もしかして
俺の事!?
ぴょんこ
ぴょんこ
ぴょんこ
そうよっ
あんた
よっ!!
あなた
だけは…っ
許さないん
だから!!
この人…
知り合い?
いや…
初対面の
ハズだけど…
ゴゴゴゴゴゴ…
……


ええい
もう
うるさいわねっ
覚悟…ッ
!!
祐一
あぶない!!
ひょいっ
どっごけっ!!


〜〜〜〜っっ
プルプル
や……っ
なかなかやるじゃないのっ
もうっ!えーーーい!!
ひょこひょこひょこ
とあっ
たあっ
ていっ
数分後
ぜーはーぜーはー
ボカン!
なんだアイツ口だけじゃん


ムキー!!
うっさいわねぇ
なによう!
あんたなんかね
あんたなんか——!!
お腹さえ
空いて
なきゃ…
私……
だって……
くらぁ
どたーん
——……
た倒れたど
勝手に…
うん


祐一 どうする？
どうする？って 俺は関係無いんだから…
あら 人が倒れているわよ
くい
大丈夫かしら あの子…
あいつ女の子相手にケンカしてたぞ
ざわ
あの男の子が
ざわ
ざわ
な…っ
勝手に悪者扱い →
ちっ 違うぞうっ 誤解すんなっっ
おいっ お前も 起きろっっ 頼むから〜〜〜
反応ナシ。
く……っ！
名雪 とりあえず コイツ連れて ここから 脱出しよう！


でないと
このままでは
俺が悪人に
なってしまう!!
本当は
・・・
よいこなのに!
えー
『えー』って
言うな!
うぐぐぐぐぐぐぐ……
ボカッ
はうっ
ま、
ここで
モメていても
仕方ない
家に帰るぞ
秋子さんも
待ってるしな
よっこらしょー
悪い
名雪
カバン
持ってて
うん
よし
行くぞっ
あ
ジャムの材料
どうしよっか
そんなの
後でいいよ…
そだねー


ただいま――
おかえりなさい…って
2人供やけに大きな材料買ってきたわねぇ
お鍋大きいのあったかしら…？
あ…秋子さん〜〜〜〜！
これのどこがジャムの材料に見えるんですかっっ
ガバ
ふふふ
やあね冗談よ
秋子さんが言うと冗談に聞こえないっス…



んと、
私 この子
上に連れて行くから
祐一は
お母さんに
説明してあげて…
おう
トン
トン
トン
気をつけろよ
あ…
ええと
ですね
実は…
かくかく
しかじか……
なんですけど
あ〜〜〜…
上手く説明
っつーか
こんなんじゃ
納得しないよなァ
——了承
へ？


えっ だ だって
得体のしれない人で…
いいんですか!?
もし何か
あったら…
その時は
その時で
まぁ
なんとか
なるでしょ
あ…
ハァ
本当に平気なのかなー?
それじゃ
何か困った事とか
あったら
言ってね
ペこり!
ハイ!
ありがとう
ございます
じゃ俺
ちょっと上行って
様子を
見てきますね
はい
どうぞ
たっ


さてと
それでは私はおじやの用意でもしておきましょ
カチャ…
！
えっとそういえば祐一さんって前にも一度…
おかーさんおかーさーん！
大変大変！
どうしたの2人供？
あのね祐一が仔ギツネが足をケガしてるのを見つけてね
それで家で手当てしようって話になって……
了承
ハイこれ使っていいわよ
ありがとう！


名雪
しっかり持ってろよ
うん
ポン
ポン
よし
出来た!!
ペロッ
早く
治ると
いいな
ねー
こんな風に
同じ様な事
してたけど…
ぐつ
ぐつ
ぐつ
ま
でも
女の子と
仔ギツネ
一緒にしちゃったら
悪いわよね
よーし
浅漬けも
作って
おきましょ


カチャ…
あ
祐一
どうだ?
ん
大丈夫みたい
まだ寝ているけど
そっか
……
あのね
連絡先
判らないかなって
悪いとは
思ったんだけど
ごめんね―
あの子の
鞄の中とか
ちょっとだけ
覗かせて
もらったんだけどね
↙中身。


ダメだったよ……
困ったね
ずーん
そっかぁ……
でも アイツが
起きなきゃ
何も
出来ないんだしさ
もうちょい
待ってみようよ
ん
そうだね
ひた
ひた
ひた……


チッ チッ チッ
クスクス…
パタ…ン
Z
ねちょっ
たゅー…!
……


わぁ──っっ
なんじゃこりゃあ──!?
誰だ!? 俺に納豆なんか盛りつけた奴は──
コツ
コツ…
お前かあっ!?
きゃ──っっ
なんつー事すんだっ この女はっっ ったく 昨日から…!
あう〜〜っ
私はただトイレに起きただけだってば──!


ぷいっ
離して…っ
しっ
しっ
証拠もないくせに勝手に決めつけないでよっ
ころん
だってこんな時間そんな都合よくなぁ…
ぽてっ
あ……っ
やっぱりお前なんじゃねーーか
……………
あう〜〜〜っ


ごちそうさま…でした
美味しかつたです
ぱた
お腹空いていたのなら起こしてくれても構わなかったのに
秋子さん そういう問題では…
風呂入った。
おい お前さぁ
ぴく
こんな夜中まで家空けて 家族も心配してるんじゃないのか?
元気になったんだったらさ帰れよ


……………
え〜と
あホラ
今夜はどうせ
遅くなっちゃった
からね
泊まって
いっても
いいんだよっ
でもねやっぱり
お家の人も
心配してると
いけないし…
解らないの
え!?
だって お前
俺に
許さないから!
とかいって
殴りかかって
きたくせに!!
あ!!
もしかして
家出少女って
ヤツか!?
あうぅ
違うもん!
だって だって
本当に
思い出せないの!!
今解るのは
ただ あなたの事が
憎いって事しか
それしか……っ!



う――んと
これは…
ぐすん
ぐすん…
"記憶喪失"って
言うのかしら…ね?
なぬ!?
マジかよ
今時!!
冗談
だってーの!
おいおい!
体よく
この家に
居座ろうって
気なんだろうがなぁ
あう～～っ
わぁあん!
あんな事
言う～～～～
キラーイ!
コラ!
祐一さん
ちょっと
言いすぎよ
ガーン
くっそ～～
あの
女ギツネめぇ!
すっかり
悪者
いいのよ
思い出すまで
うちで
ゆっくり
していって
とほよー
うぐうぐ
てな訳で
では
色々と
思い出すまで
お世話に
なります
はい
ぱちぱちぱち
ぺこりん
ったく…
……


でも困ったわね
？
これからなんて呼んであげたらいいかしら…？
う～～
あそっか…
……
しゅん…
うむ
——ではこうしよう
こいつの事は『殺村凶子』と呼ぶ事にしよういい名前だろ？
殺村凶子
お前を表わすのにピッタリで！
カチーン
んもーむっかつく～っ
なにそれ！やっぱりあなたなんか大ッ嫌い!!
ほらその性格まんまじゃないかー!!
ボカ
スカ
ほらほら2人共今何時だと思ってるの
こうして水瀬家に謎の居候
殺村凶子(仮)が加わる事になつたのだけど……


祐一の部屋
ぺた
ぺた
きしし
こんにゃく↓
ふふふ……
何も
知らないで
すぴー
すぴー
よーく
眠ってる
じゃないの♡
せーの!
3・2・1…


ゼロ～～～～～～～～ッ!!!
うわわあああ…っ
がば
馬鹿め！その程度のイタズラに気付かない俺じゃないぜ!!
ば
ち…っ 違うわよぅ!! これは今 私が食べようと 思ってたの!!
ほ～～～～お
じゃあ食え！今すぐ食べて いいぞっっ
きゃ～っ！
イジメだーっっ


わーん
オニーー
どたどたどた
まてーー
何やってるのーー
もーー
そんな訳で
この女
「沢渡真琴（さわたりまこと）」
なんだけど
あう
に・く・ま・ん♥
自分の名前以外の事は
さっぱりと記憶から
抜けてしまって
いるらしく
つい先日から
水瀬家に
居候している
のである
……
了承♡


それだけなら
まだ
良いのだけど
祐一――
お風呂 空いたよ――
お――
サンキュ――
ふんふん～♪
がちゃ
…………
なんじゃ
こりゃあ…
もわ
もわ…
あはははーだ!
見て解らないの?
この位
はっ!



えへん！味噌汁風呂って言うのよ♡祐・一・君！
じゃーん
あなたにピッタリなんじゃないかと思って…
呆れ…
ぎゃっ
祐一
禁
ぎゃーっHー！！
ぎたっ
何故か俺の事が憎いという感情が残っていた為に
こうしてしょっちゅう俺に奇襲をかけてくる所には参っていたのであった…
うう…見られたのは俺の方なのに～～くぅ
ひど――い
ぐすん
ふっふ～ん♡


♪～
………
♪んまんま♪
な　真琴　ちょっと　いいか？
！
なっ　なによう！　肉まんは　私のよっっ
ぷー
そうじゃ　ないって
ささっ


じゃあ なによっ
そうだな なんつーか さ…
お前さ いつまでも グータラ してないで 働くとか したら どうだ？
秋子さんは 今のままで いいって… そう 言って くれたもん…
…だから いいんだもん
だからって 一生そのままで いられねぇだろ！



記憶が元に戻らないのは不安かもしれないけどさ
…ぐっ
あなた私の事嫌いだからってそんなイジワル言う事ないじゃないの!!
意地悪じゃねえって!!
だって…ふっ
わかったわよ！行けばいいんでしょ!!
そうすればあなたの気が済むんでしょ!?
じゃあねっ
えっ
あっおい！真琴っ
………
くそ…っ



なによ
イジワルー!!
あんな奴
大ッ嫌い!!
みていなさいよ
私が帰ってきたら
ギャフンと
言わせて
やるんだからー!!
ところが
夕方
とぼ
とぼ
とぼ
あんなタンカきって
出てきたってのに…
お仕事
みつかんない…
これじゃー
祐一に笑われちゃう
よ〜
ケケケケ
ゆ
じたばた


どうしよ………
ずーん
ガサ
ガサ


ただいま――
水瀬


やはり みつから なかったのか…
ガサッ
名雪 さっきくれた本 持ってってって みるよ
あ うん 使って 使って


コン
コンッ
真琴──
入るぞ──
カチャ…
あのさ…
ひょこ
〜〜〜って
何してんだ
お前?!
にゃー
え?
見て
わからないの?
ネコだよ


ちっがーう!!
どこでひろってきたのかって言ってんだよ!
ギリーー
あうううううう…
ギリ
ギリ
ギリ
あたた…
あのね…
ガサ
ガサ
さっき家に戻ってくる途中でね――
!
にゃん
ほわん
――それでこの子そのままついてきちゃったのよ…


どうすんだよ まさか 飼う つもりじゃ…？
野良猫だったら そのまま 別れてきたと 思うけど
この子 飼い猫みたいで …そしたらね 一人では生きていくの 難しいだろうなって 思ったから…
でも 飼い主だって 捜してると思うし それだったら 見つかるまで だけでもって——


そうか…
わ～
実はさ この家には 猫好きなクセに
猫アレルギーな 奴がいるんだけど…
!!
くしゅっ
あ…っ
そっかぁ …それじゃ
無理 だよね
そ… だよね


そっ
——でもさ
俺はそいつにバレさえしなけりゃ
なんとかなるかもしれないって思いはじめているんだ
え……っ
わっ
よかった！よかったね——ネコちゃん!! いいって——!!
頑張って静かにしているんだよー♡
ぴょん
ぴょん ぴょん
ニャッ
ニャ
！


なあ 真琴
ん?
こいつ まだ名前 無いのか?
にゃ!
飼うんだったら まず 名前だろ?
う…うん そうだね
えっと じゃあ 祐一考えて!
祐一がこの子を 飼っていいって 許可してくれたから 特別だよ♡
う〜〜〜〜ん… そうだなぁ じゃあ …「肉まん」は?
それは 嫌〜〜〜〜〜
それだったら 「ピロシキ」は どうだ?
!
ピロシキ?


わ！
それ！
カワイイかも
ねっ
なんて意味?!
ねっ　ねっ
ふふっ
それはだな
ピロシキってのは
純粋に俺の内なる
乙女心を
くすぐる宇宙…
その名も
「乙女コスモ」より
生まれ出たワードだ
おわっ！
可愛いだろ？
ぴろちゃん♡
なんて呼ぶと
ふーん
うん♪
なんだか意味も
よく解らないけど
今日から
キミは
「ぴろ」だよー♡
にゃ！


よかったね～♪
にゃんにゃんにゃん♪
バニガーイ
にゃんにゃん
ウニャ
くすっ
そういえば
この部屋で
俺も昔 名雪と
怪我した
仔ギツネを
連れてきて
丁度こんな風に
今日の真琴みたく
可愛がってた事が
あったっけなぁ…
こいつ…
真琴も
最初から
ビックリ
させられる
事が多くて
俺も
どう扱って
よいのか
困ってたけど


こうやってお互い
自然に打ちとけて
ゆく事が出来れば
一緒に暮らしてゆくのも
悪くないよな
…きっと


真琴！
！
あのさ
さっきは…
あんな言い方して
俺の方が悪かった…
ゴメンな
あれから考えてさ
やっぱ一人で
いきなり始めろってのも
ムチャな話だ…って
思ったし
…んで
俺も その
手伝えたらなぁ
……って
え…


さっき名雪に相談したら あいつ バイト情報誌 買ってきてくれてさ
ガサガサ
やだ… いつもイジワルな 祐一が こんな 優しい言葉 掛けてくれるなんて
だから—— 一緒に頑張って 探そうぜ
そんな事 されたら 私 今迄 祐一に してきた 色々な事が
悪い事って 私の方が 悪かったなんて そんな風に 思っちゃうじゃない…
でも… でも
こんな風に 優しい言葉 掛けられるのは 嫌じゃない…から
うん ——わかった!


この部屋から
始めよう
私
ぴろの分まで
頑張らなきゃ
いけなくなった
もんね
だから
よろしくね
祐一
おう！
任せとけ!!
俺が協力すりゃ
すーぐ金持ちに
なれらぁ!!
どんと
こーい!!
わー
本当?!
すごー
祐一かっこいー!!
ドキ
ドキ
あらあら
なんだか
賑やかね――
ひょっこん
!


はい 2人に 差し入れよ
こっちは あなた達に こっちは 猫ちゃんによ
CAT CAT
うっわ… もうバレていたんですね… 全部
ふふ♡
ええと そんな訳で この仔猫なんですけど…
にゃ
了承
よーし いいこ いいこ♡
おわっつ いつもながら はやっ!!
わぁい♡ 秋子さん ありがとー! よかったー
いいのよ
うーん すごいなぁ…
これで ぴろと 暮らせるな
名雪の事はまだ問題あるけど…
うん! 頑張る!!


んじゃ 解決した所で 秋子さんの 差し入れ 食おうぜ
そだね！
さんせーい！
では いっただきまーっす！
まーす♡
もぐもぐもぐ…
んぐっ
1F
なんじゃ こりゃ〜
祐一も これで香里の ノーコメントの 意味が 解ったよね
あーあ…

DENGEKI COMICS

Kanon—カノン—①

2000年10月15日　初版発行

原作	Key
作画	森嶋プチ
発行者	佐藤辰男
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川書店　〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-3238-8605(営業)
カバー・本文デザイン	シイバミツヲ (伸童舎)
装丁	朝倉哲也 (design CREST)
印刷・製本	図書印刷株式会社

初出／月刊コミック電撃大王 2000年2月号～2000年10月号(メディアワークス刊)

ISBN4-8402-1678-9 C9979











9784840216784
1929979005504
ISBN4-8402-1678-9
C9979 ¥550E
雑誌49054-09
DENGEKI COMICS
発行●メディアワークス
定価: 本体550円 ※消費税が別に加算されます



Kanon ①